

2018.3.29

学校関係者評価委員会報告書

少友幼稚園ダンス講師 平松み紀

平成 30 年 2 月 22 日(木)に少友幼稚園で吉野悦子園長と梶山正美先生、平松み紀の 3 名で学校関係者評価委員会を開きました。以下、項目に沿ってご報告いたします。

1 教職員の自己評価を踏まえた学校関係者評価

①自己評価の客観性

今年度は創立 100 周年事業があり、キリスト教フレンド派の少友幼稚園の建学精神に触れる機会が多く、再確認した教職員が多くみられました。また、記念式典では、卒園生や前教諭との再会を喜び、地域の方々に支えられて 100 周年を迎えられたことを教職員一同感謝していました。歴史ある少友幼稚園の存在意義を感じました。

次に、園児の個性についての話し合いがあり、関わる大人が個性を決めつけるのではなく、園児のやわらかい心を見守る姿勢が大切である、と委員会の中で今後の保育目標を明確にいたしました。

土曜日の預かり保育は人数が少ないため、園児と担当者が一緒にランチを作ったり、お弁当を持って千波湖や偕楽園へお散歩に行く工夫をしていました。このような、少人数に対応するあたたかい保育に共感し、「園児の不安や淋しさ」を考えている教職員が、「目に見えない環境を大切にしたい。」という言葉を書いており大変評価したいと思いました。

②学校・家庭・地域が共通理解を持ち、その連携協力により学校運営の改善に当たること

吉野園長より教職員の処遇改善についての提案があり、理事会等の第 4 号議案（技能・経験に応じた保育士等の処遇改善について）の説明を受け、積極的に実施していくことに賛同いたしました。危機管理マニュアルを作成したことで職員の意識が向上したことも評価したいと思います。

2.主体的・能動的な評価活動

保護者に寄り添う幼稚園の姿勢もみられ、第 2、第 4 火曜日に「お昼にお気軽ストレッチ」を開催し、日々の疲れを癒してもらう時間を設けています。講師は OG でもあることから、保護者の相談相手も務め、幼稚園と保護者をつなげるコミュニケーションに役立てています。また、保護者の不安は園での様子を伝えることで理解を深めてもらうように努めている教職員が多くみられました。